



学塾通信 10月号 (第118回)

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

10月10日(月)は祝日ですが授業はあります。

いよいよ秋です。受験生は本格的に進路について考える時期となり、次の受験生にとっても進路について考え始める季節となりました。

『受験は自分との戦いである。自分の気持ちに負けずに、やるべきことを地道に取り組むことができるかどうか結果を左右する。』といったようなことが言われているように、受験は受験生が自分の気持ちと向き合い、どれだけ頑張れるかが非常に重要です。

最終的に頑張るのは受験生自身ですが、受験期の我が子とどのように関わるべきかを悩まれている保護者の方も少なくないのではないのでしょうか。「子どもに任せます」というのも、主体性を育む一つの良いスタンスだと思います。しかし、すべてを子ども任せにせず、大事な部分は保護者の方からもアドバイスをするなど、ハンドリングをしていただければと思います。

受験生についてはもちろんですが、ここ最近の教室の状況を鑑みて、特に小学生・中学 1・2 年生の保護者の方にふたつ、お願いしたいことがあります。

ひとつが講座の受講についてです。勉強が苦手な生徒ほど「しんどいから嫌だ」という理由で受講をしません。学塾では自宅学習が難しい生徒を対象に講座を設定し、必要な生徒には案内をしています(テスト前学習会・早朝学習会・講習会・各種講座など)。しかし、本人が「しんどいから嫌だ」という理由で受講しないと、私たちも普段の授業でしか対策ができず、結果としてできることも増えていきません。ですから「しんどいから嫌だ」という声には「頑張っておいで」という声をかけていただきたいと思います。

もうひとつが欠席の理由についてです。本当に体調不良や突発的な用事があるのであれば仕方ありません。ただ、休みの連絡をいただいたあとに日吉公園でその姿を目撃すると何とも言えない気持ちになります。気持ちはわからなくもないですが、やらなければいけないときには「頑張ってやりなさい」と言っていただきたいと思います。

子ども達の学習に対する姿勢には、普段ご家庭でかけられている言葉やご家族の学習に対する在り方が映し出されています。「受験まではまだ時間があるから」と思わず、義務教育までに学ぶことは最低限の一般教養として必要なことであると伝えていただきたいと思います。子どもたちの学力を守ることも、私たち大人の役割です。

お通いいただいている塾生にひとつでもできることを増やしてもらえよう、私達も指導していきます。差し出がましいことを申しますが、ご家庭でもご協力いただけると幸いです。



○塾代助成カード利用者の方へ

秋にパスワードの変更があります。新しいパスワードが届きましたら、助成カードと一緒に教室にお持ちください。カードを処理する際に、新しいパスワードが必要になります。

○個人面談について(全学年)

年間授業回数について(再案内)

年間の授業回数についてのお問い合わせがありましたので、改めて共有致します。

各曜日、年間 45 週を振り分けているため、月ごとの授業回数に差がある月も存在します。「堀江中学のテスト前に祝日があっても授業実施日になっているため」といった理由で調整することもあります。2022 年 3 月から 2023 年 2 月までの授業回数はどの曜日と同じです。

☆小学生☆

小学 6 年生はいよいよ、小学校の学習内容が終盤に入ります。

中学校への準備として大切な単元は「計算・割合・速さ」です。分数の計算に不安がある人は、小学生の間に正確に計算できるように練習しておきましょう。速さの単元では「距離」と「速さ」と「時間」の関係を理解できているかどうか大切です。理解できていれば中学生になっても大丈夫です。

☆中学受験生☆

中学受験生のみなさん、何度も何度も繰り返し練習をして、正確に早く解くことができるようにしていきましょう。そのためには学塾の授業時間以外の取り組みが重要になってきます。

塾での授業・宿題の取り組みと自主学習は車の両輪と同じです。どちらもしっかり取り組むことができ初めてまっすぐ前に進みます。今でも勉強を頑張っていると思うでしょうが、どの受験生もかなりのレベルで仕上げてきます。学校のテストでは点数を取ることができているというレベルでは比較できません。高い意識を持って受験勉強に臨んで下さい。

また、私立中学に進学するという事は、進学先の偏差値に関わらずどの学校も進度が早く、学習量も多くなります。「受験が終われば勉強をしなくて良いから、今頑張ろう」ではなく、私立中学の学習量に対応できるように受験勉強を通して体力をつけてください。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)

9月25日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

☆中学1・2年生☆

○中学2年生

今年度から始まった特進クラスについての要綱をお知らせします。
特進クラスは文理学科設置校もしくは同レベルの学校を目指す生徒のための特別クラスです。
8月末に中学3年生の内容を終え、9月から入試対策を進めていきます。

新年度開講の3月より開始致します。

受講基準は2つあります。

- ・2学期の5教科合計点数が中間テスト・期末テストを合わせて820点以上
- ・2月の五ツ木模試で5教科の偏差値が60以上

どちらかの基準を満たす生徒に受講証を渡します。

新年度が始まる前の2月に新年度保護者会を実施する予定です。
その場で1年の流れを含めてご案内致します。

現中学3年生は特進クラスでの受講者は3名です。

☆高校受験生☆

○過去問の実施について

学校説明会などで昨年度の入試問題(過去問)を配布してくれる学校もあります。
解いてみたい気持ちもわかりますが、12月以降に計画的に解いていくのももう少し待ってください。
(教科によっては未習の学習内容もあります。)

○進路面談について(先月と同じ案内です。)

10月末に進路面談を実施します。

10月2週目から希望者を対象に個人面談を実施します。希望される方は日程調整をさせていただきますので info@gakujyuku.com 宛に連絡をお願い致します。

対面、オンライン、電話、2者面談・3者面談など希望に応じて実施させていただきます。希望されない方については2回目の進路希望調査をお渡ししますので、提出をお願い致します。

11月・12月の学校での懇談を経て受験校の決定となります。学校での懇談後再度、学塾での面談を希望される方は随時実施しますのでお声掛けください。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト

10月9日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

やり直しの際に、全て復習することが難しいという場合は、全体の正答率を見てください。正答率が高い問題は、模試の復習における優先順位が高い問題だと判断できます。反対に全体の正答率が低い問題であれば無理にやり直しをする必要はありません。

進学先で卒塾生がどのように成長をしているのか。送り出した側としてはいつまでも気になります。立派に成長して良かったと思うことができれば本当に嬉しいです。

過去の卒塾生の様子から、特に良かったと思う高校には、子どもたちの能力を引き上げる環境があるように思います。もちろん学校ごとに教育方針や理念は異なります。高い意識をもった仲間が集まるが故にそれについていくことでレベルアップできた生徒や、私立学校のカリキュラムによって引き上げてもらうことができた生徒など、状況は様々です。

ただし、共通しているのは中学時代よりひとつ上のレベルで頑張れる3年間だということです。

自分をより良い環境に置けるよう、目の前の課題を着実に片づけていきましょう。

○塾長講座の予定

9月の塾長講座の予定

9月17日(土)

13時30分～19時00分

塾長講座について

1月から実施してきた塾長講座は11月が最終回となるため、残り3回です。

12月以降の塾長講座は入試直前特訓に移行し、入試に向けた最終確認・実践演習を行います。

☆高校生☆

高校2年生のみなさんも進路について考えていく時期に入りました。高校卒業後のことを想定して進路選択をしていきましょう。

まずはどのような大学があるのかを調べてみてください。高校受験と違い大学受験は受験方式や受験機会がたくさんあります。

小中学生のころから学塾に通ってくれている人たちにひとつだけ伝えておきます。

大学受験は自主学習がしっかりできていることが前提です。通常授業・講習会ですべてを完結することはできません。「塾が引っ張ってくれる」という受け身の姿勢ではなく、自分の勉強を補うために塾の授業や自習スペース、専用ロッカーがあると思ってください。高校受験の2倍勉強をするぐらいのイメージが良いです。

たくさんの方をご紹介いただき、誠にありがとうございます。
塾を探している方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

【高1～3】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了
【高校受験 中1】	7名
【中学受験 小6】	若干名
【中学受験 小5】	若干名
【中学受験 小4】	若干名
【非受験 小学生】	若干名

学塾【URL】 <https://gakujyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujyuku/>